

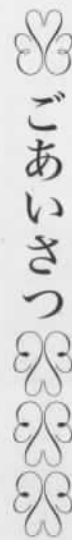
今年の夏は、南アフリカで開催のワールドカップサッカーで日本列島が「ニッポン・ニッポン」の大合唱に湧き、寝不足になった方々がいらっしやったかと思われます。なお、我が日本は、ベスト8に進出できず大変残念な結果となりましたが、4年後のワールドカップに向けてさらに飛躍するものと期待しております。

また、野々市町では、官・民一体となり今年10月の国勢調査に向けて一致団結して、5万人突破をクリアできるように努力しており、来年の11月以降の市制の実現にがんばっているところであり、私自身も市制実現を確信しているところであります。

町文化協会加盟16団体もさらに連携を密にして、文化活動を充実させ、愛と和の町民憲章にありますように、教育文化の香り高い町づくりに寄与するように努める所存でありますので、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



野々市町文化協会
会長 内村 栄一



野々市町文化協会

だより

第 23 号

発行人
野々市町文化協会会長
内村 栄一
事務所
野々市町教育委員会文化振興課内
野々市町字三納18街区1番
TEL (076) 227-6121



『五百都市 めざす植の』

椿まつり 2010

花と緑ののいち



『愛と和のまち』



THE 21th CAMELLIA FESTIVAL



野々市町文化協会会員の中野孝一氏(蒔絵)が7月16日国の重要無形文化財に答申されました。



文化協会 加盟団体一覽	団体名	代表者	設立年	会員数	団体名	代表者	設立年	会員数
	1 野々市じょんから節保存会	久保 昇	昭和35年	60名	10 読書会連絡協議会	魚住 慧子	昭和61年	29名
	2 菊花協会	南 憲志	36年	22名	11 社交ダンス愛好会	山谷 光輝	61年	41名
	3 椿愛好会	宮崎 昭男	49年	58名	12 民謡協会	山口 正昭	平成元年	90名
	4 美術文化協会	村井 良樹	52年	81名	13 俳句協会	小林 清	3年	36名
	5 音楽文化協会	朝倉 喜裕	52年	250名	14 茶道協会	安田 光男	5年	83名
	6 華道協会	若島 翠節	53年	72名	15 短歌協会	香城 清子	7年	23名
	7 盆栽愛好会	山科 哲次	54年	34名	16 能楽愛好会	金田 吉敬	16年	31名
	8 囲碁協会	西永 正雄	57年	110名				
	9 将棋協会	貽谷久太郎	58年	85名	計			1,105名

加盟団通信

じよんから節保存会

「じよんから」といえば野々市がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能である「野々市じよんからまつり」会場内ステージにおいて、最後までお囃子を続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会、学校、企業、又は商店街に講習会や宣伝活動にいそしんでおります。小中学生対象の「じよんからKID S」も結成以来5年を過ぎました。どしどし和楽器と融れ合うチャンスでもありますので、入会してみませんか。又、この機会に専門的に踊りや囃子など習得してみたい方を随時募集しております。



保存会事務局の(役員内) 小川 227-6037 又は 248-1089 まで。

音楽文化協会

音楽は生涯の友

私たちが音楽文化協会の会員は「音楽する」事によつて心身共に癒やされています。楽器を吹く時あるいは歌を歌う時、複式呼吸によつて内臓の運動をしています。又ピアノや弦楽器を弾く行為は、指を使う事により脳を活性化させています。プロはさて置き、趣味としては最高のものです。子供の頃や长大了くてもやれなかつた楽器がありませんか？高齢化社会を乗り切る為にも、仲間と楽しく健康にも良い音楽を始めませんか。樺まつりやマナビイフェスタの音楽祭を参考になさして下さい。



華道協会

私たちが華道協会は、七流派、会員七十二名です。樺まつり、マナビイフェスタなど町の行事に参加しています。昨年五月二十三日、二十四日に第二十五回花展をフォルテ小ホールで開催しました。たくさんの方々にご来場いただきました。



今年、七月に宝塚星組観劇の研修旅行を企画しています。宝塚の夢の世界を体験。心も体もリフレッシュして、会員相互の親睦をさらに深めたいと思っています。

菊花協会

当協会もお蔭様で、五十年の節目を迎えました。記念に苗の無償分譲を行いました。沢山の苗を用意してお待ちしていましたが、取りに来られた方は3名でした。菊づくりは難しい、手間、暇が掛かるといふ先入観をお持ちなのか、或は時代の流れなのか、菊づくりをする人が減ってきています。淋しい思いがしています。ともあれ、今年もマナビイフェスタで菊花展を開催します。皆さんのご来場を会員一同、心からお待ちしています。



盆栽愛好会

盆栽愛好会では、ほぼ毎月定例会を実施しており、その内容は講師招聘しての技術研修会年5回、会員のお棚拝見、相互勉強会、外盆栽、山野草の交換会を行って、盆栽技術の高揚と会員相互の親睦をはかっております。さらに、年3回の展示会は会場設営から作品展示と会員みんなの楽しい行事となっています。また、年1回県内外への親睦旅行も実施している内容のある楽しい会です。会では通年、新会員を募集しています。連絡は246-2367 山科まで 入会金・千円、年会費・3千円



椿愛好会

町花木の保存、普及へ 町花木「椿」の制定とともに歩んできた本会は、椿を通して「花と緑の町づくり」に取り組んで三十六周年を迎えました。個性ある美しさに愛着し、ひたすら育て町民対象に挿し木講習会等を開催し普及に努めています。椿の語源は、厚葉木、艶葉木、強葉木などと言われていますように、その深い緑色や艶やかな光沢に魅力を感じさせてくれます。何時でも人々の心を和ませてくれる椿を通して「愛と和」の町づくりに努めましょう。連絡先 宮崎 248-1090 まで



囲碁協会

囲碁が大好きさん、中央公民館で待っております。例会は毎週の土曜の晩と日曜の午後、三階和室で楽しんでおります。(会費千円) 一月の第三日曜日に総会を兼ねてABCの棋力別で段級差一目的のハンデで行つていきます。 十月のタイトル戦は、名人位、金杯位、銀杯位をかけて行つていきます。三月の樺まつりの「囲碁」を担当のほか、県下市町対抗囲碁大会に毎年三チームを派遣しています。



美術文化協会

美術文化協会は、村井良樹新会長を中心に六部門の八十名でスタートしました。四月の現代美術展では、同町から三十名が入選し、当協会員十名が受賞と気炎を上げています。 八月の野々市町美術展をはじめ、秋の協会展や、部門ごとの作品展、春の樺まつりと年間を通じて活動しています。レセプションや新年会では部門を越えて製作談議に花が咲き刺激し合い楽しくすごします。身近かな郷土の作家達の力作是非ご覧下さい。



将棋協会

将棋の醍醐味は、一手違いのぎりぎりの攻防にあります。それには対局者同士の実力が伯仲していなければなりません。例会で行われる「順位戦」は人気があります。

A級十五名、B級二十名、C級約三十名の二ヶ月を一期とするリーグ戦で、上位五名、下位五名が昇降級しますが、昇降級を賭け、盤上で火花を散らします。参加者は年齢職業、学校に関係ありません。金沢能登、加賀地方の愛好者も参加しています。

初心者もお気軽に参加して下さい。



俳句協会

好奇心を持つ

俳句は日本人に馴染みが深く同好者が多い。二十年前に野々市の愛好者が研鑽と親睦をと協会を設立し、毎年新年句会、椿まつりやマナビイフェスタでの俳句展示、じよんから祭り俳句大会、吟行会を楽しく行っている。

俳句の効用を要約すると自然への関心が高まり、草木鳥獣や文字を知り、また見る世界が広がり、その好奇心が脳の活力になるといわれている。

俳句に関心のある方々の御参加を心から願っている。



茶道協会

学んでみませんか

日本を代表する伝統文化茶道とは礼儀・作法が基本です。基本を繰り返しながら道・和敬清寂「その心を学びます。人間本来の心、優しさ、思いやりなど茶道を体験。修練することにより身につけることとなりませう。己をみつめ静かに一瞬を手にしてみませんか。

連絡
TEL 248-2658
庭田みさ子



読書会

じゃあ、読もう。

二〇一〇年、今年は「国民読書年」じゃあ、読もうはキャッチフレーズ。とりあえず本を手にとり読んでみよう。必ず得るものがあると確信できます。読んだ本の数だけ心が豊かになり生きる道しるべになると感じています。

読書協会は四つのグループそれぞれが月・一回の例会で読後感を述べ合っています。一冊の本を読み十人十色、さまざまな感想が開かれ楽しく運んでいます。

じゃあ、入ろう。と思いませんか。待っています。



短歌協会

短歌協会は創立十五周年を迎え歌会も百回を数えました。

私共は町行事の椿まつり・文化祭へは積極的に参加し毎年実施の万葉集講座、研修旅行(吟行)各地での大会への応募参加と地道な充実した研鑽を重ねております。

本年五月二十二日のバス研修は大乗寺、湯涌創作の森、板ヶ谷神社、夢二館方面へ吟行を実施しました。参加者は緑滴る浅ノ川沿いを県境近くまで訪れ、板ヶ谷神社では新緑の中、樹齢八百年五株が一体となつて聳たつ市天然記念物の大杉に逞ましい生命力を感じ、歌心を膨らませました。創作の森では各自小品をプリント製作し、昼食後陶山先生の夢二小話と短歌の講演を聴き、夢二の芸術に大きな影響を与えた地元の岸たまきの生涯や、愛人彦乃への思いを湯涌で詠んだ歌を鑑賞しました。



社交ダンス愛好会

記念写真です。

本会は会員の健康増進及び会員相互の親睦をはかり楽しく踊る事を目的としています。毎週火曜日十七時三十分より野々市町中央公民館においてプロの金子先生ご夫妻の楽しいご指導をいただいています。写真は今年の椿まつりに参加した折の記念写真です。

また来る八月二十二日(日)午後一時より野々市町中央公民館でチャリティーパーティーを開催しますので皆様のご来場をお待ちしています。なお随時会員募集をしています。

初めての方も経験者も歓迎いたします。



能楽愛好会

六月二十七日(日)午後一時

私達野々市能楽愛好会の第七回発表会が三十人の参加で開催されました。日頃からの稽古の成果を遺憾なく発表する数少ない機会で、みんな元気にしつかりと誦上げる事ができました。

昨年の発表会より一段と上達し、鍛錬の足跡を感じ取る事のできるすばらしい発表会でした。

この独自の発表会とは別に文化協会主催の椿まつりやマナビイフェスタへの参加。

子供能楽教室の開催等、頑張って活動を続けております。



民謡協会

毎年行われていました発表会は、いつも会場として利用させて頂いていたフォルテが、八月初旬より改修となり、残念ながら本年は中止としました。ファンの方々には大変申し訳なく思っていますが、マナビイフェスタと椿まつりに、全会員ではありませんが、一生懸命に舞台を飾りたいと思っております。多数ご来場願います。

また、年齢に関係なく弾きたい、吹きたい、叩きたい、舞いたい、唄いたい方は各地区公民館あるいは役場教育委員会文化振興課文化協会担当まで問い合わせ願います。



野々市町 文化協会表彰

文化活動の功労功績をたたえる



●平成二十一年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日(文化の日)文化会館フォルテにて挙行され、次の七氏に表彰状とトロフィーを贈り、それぞれ功労、功績をたたえました。(敬称略)

〔文化功労賞〕

北 清志 町文化協会及び美術文化協会役員として会の運営・発展に多大な貢献

〔文化振興賞〕

神田 直次 美術文化協会役員として会の運営・発展に多大な貢献

〔文化奨励賞〕

萬壽賢一郎 開基協会役員として会の運営・指導に多大な貢献
上田 昭夫 民謡協会役員として会の運営・指導に多大な貢献
古源 和子 俳句協会役員として会の運営・指導に多大な貢献
久保スミエ 茶道協会役員として会の運営・指導に多大な貢献
中西名菜子 短歌協会役員として会の運営・指導に多大な貢献

わが協会にこの人あり ☆加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



じょんから節保存会
森田外代美さん

哀愁を帯びた野々市じょんから節の囃子に合わせて踊る様子は、素朴さの中にも気品に溢れ、見る者を引き付けています。森田外代美さんは、幼少の頃より郷土芸能の好きな両親に連れられて、毎年野々市町の盆踊り大会に参加しており、自然と踊りの基本が身に付いたそうです。特に大人も子供も一緒に踊る楽しさは格別なものとおっしゃってられます。

団員減少で青年団から町の主催となり時代の変遷を経る中で、野々市じょんから節踊りの指導者となり、その後四十年後継者育成やいろんな出演依頼にも気さくに応じられ、楽しい限りです。現在も元気で活躍中です。



野々市能楽愛好会
山口眞智子さん

以前、どこかの家でも祭り事やお目出度い席で謡を誦合い、席を盛り上げた時代がありました。が今では当愛好会は三十一名の小さな組織で活動をしています。そのメンバーのほとんどが謡や舞の稽古に専念しているのですが、その中で太鼓に力を注いでいる人が居ます。山口眞智子さんです。山口さんは人間国宝で観世流太鼓方の麦屋清一郎氏に師事し十三年。活躍の場は石川県内に留まりません。

能「羽衣」「西玉母」「竹生島」の太鼓も立派に演じられました。「邯鄲」のお能の折には自ら中国の邯鄲市を訪れ見識を深めた上の舞台でした。又、秘曲と言われる「猩々・乱」を演じた事も忘れられない思い出でしょう。今後の一層の飛躍をご祈念申し上げます。

平成22年度 主な事業計画

月日	事業名	場所
7月31日・8月1日	野々市じょんからまつり協賛	フォルテ周辺
8月1日	文化協会だより23号発刊	町内全戸配布
8月27日～9月5日	野々市町美術展後援	カメラア
10月23日～11月3日	のいちマナビィフェスタ2010協賛	中央公民館 カメラア
11月3日	文化協会表彰贈呈式	カメラア
11月中旬	視察研修会	未定
11月27日・28日	ビッグアプルインのいち2010協賛	金沢工業大学
1123年1月中旬	新年懇親パーティー	カメラア
3月19日・20日	花と緑ののいち椿まつり2011	フォルテ 教育センター 郷土資料館

平成22年度 野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	栗 貴章	野々市町長	常任理事	小林 清	俳句協会
	西田 治夫	野々市町議会議長		安田 光男	茶道協会
	吉田 修	石川県議会議員		香城 清子	短歌協会
	村上 維喜	野々市町教育長	理事	村上 慎市	能楽愛好会
	帆 宏典	前文化協会会長		瀬戸 幸代	じょんから節保存会
参与	飴谷久太郎	前文化協会副会長		川岸 忠次	菊花協会
	山谷 光樹	前文化協会副会長		北 時子	椿愛好会
会長	内村 栄一			中村 健治	美術文化協会
副会長	奥村誠一路			山本 貴志	音楽文化協会
	山口 正昭			土屋 幸栄	華道協会(兼務)
	又多 好子			櫻田 幸治	盆栽愛好会
理事長	柳田 正久			西永 正雄	囲碁協会(兼務)
副理事長	土屋 幸栄	華道協会		朝日 三男	将棋協会(兼務)
常任理事	朝倉 忠雄	じょんから節保存会		埴生登喜子	読書会連絡協議会
	南 憲志	菊花協会		中村トシ子	社交ダンス愛好会
	宮崎 昭男	椿愛好会		吉倉三喜男	民謡協会
	岩脇 鉄一	美術文化協会		坂井 管子	俳句協会
	丸山 順考	音楽文化協会		酒井喜和江	茶道協会
	若島 翠節	華道協会		古田美津子	短歌協会
	山科 哲次	盆栽愛好会		高木 由次	能楽愛好会
	源野 辰一	囲碁協会	監事	西永 正雄	囲碁協会
	窪田 弘	将棋協会		朝日 三男	将棋協会
	魚住 慧子	読書会連絡協議会	幹事	宮前 定明	
	竹森 公勝	社交ダンス愛好会		金子 祐佳	
	中村 三朗	民謡協会			